



平成23年2月14日
損保ジャパンD I Y生命

平成22年度第3四半期業績のお知らせ

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社（社長 澁谷達雄）の平成22年度第3四半期の業績につき別紙のとおりお知らせいたします。

なお、今年度第3四半期累計期間における純利益が83百万円となり、平成20年4月～6月期から四半期ごとに業績の開示を始めて以来、初めて当該累計期間損益が利益となりましたので、あわせてご報告します。

<目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3頁
3. 四半期貸借対照表	……	6頁
4. 四半期損益計算書	……	7頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	9頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	10頁
7. 特別勘定の状況	……	11頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	11頁
（参考）第3四半期会計期間の業績	……	12頁

以上

※ 資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

※ 諸表の記載金額は単位未満を切り捨て、単位未満の数字がある場合には「0」、該当する金額等のない場合には「-」としております。また、諸比率は、四捨五入により表示しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社
広報室：杉山実 TEL:03-5437-9026

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期会計期間末				平成21年度末	
	件 数	金 額		件 数	金 額	
		前年度 末比	前年度 末比			
個人保険	46,510	99.3	7,906	98.3	46,824	8,039
個人年金保険	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期累計期間				平成22年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比			新契約	転換による 純増加		
個人保険	3,631	592	592	—	2,841	78.2	451	76.1	451	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期 会計期間末		平成21年度末
		前年度 末比	
個 人 保 険	3,700	101.4	3,650
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	3,700	101.4	3,650
うち医療保障・ 生前給付保障等	877	101.6	863

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	244	193	79.3
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	244	193	79.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	74	55	74.8

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

	平成22年度 第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	154	2.5	182	3.0
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	4,722	77.5	5,407	87.9
公社債	2,388	39.2	2,690	43.7
株式	852	14.0	950	15.5
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	1,481	24.3	1,766	28.7
貸付金	—	—	—	—
不動産	—	—	—	—
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	1,217	20.0	559	9.1
貸倒引当金	—	—	△0	△0.0
合計	6,093	100.0	6,149	100.0
うち外貨建資産	—	—	—	—

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

(単位：百万円)

区 分	平成22年度第3四半期会計期間末					平成21年度末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			うち差益	うち差損	うち差益			うち差損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	2,711	3,235	524	524	0	3,012	3,635	623	623	—
公 社 債	2,386	2,388	2	2	0	2,687	2,690	2	2	—
株 式	324	846	521	521	—	324	945	620	620	—
外国証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	2,711	3,235	524	524	0	3,012	3,635	623	623	—
公 社 債	2,386	2,388	2	2	0	2,687	2,690	2	2	—
株 式	324	846	521	521	—	324	945	620	620	—
外国証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・時価のない有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成22年度 第3四半期会計期間末	平成21年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
その他の有価証券	1,486	1,772
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	5	5
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	1,481	1,766
合 計	1,486	1,772

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

(4) その他

当社は、米国のサブプライムローンを裏付資産とした証券化商品を含めた、一切の証券化商品を保有していません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	平成22年度 第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	平成21年度末 要約貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		154	182
有価証券		4,722	5,407
(うち国債)		(2,388)	(2,690)
(うち株式)		(852)	(950)
有形固定資産		59	80
無形固定資産		—	0
代理店貸		0	0
再保険貸		2	21
その他資産		1,154	456
貸倒引当金		—	△0
資産の部合計		6,093	6,149
(負債の部)			
保険契約準備金		1,089	1,041
支払準備金		199	141
責任準備金		889	899
代理店借		3	3
再保険借		28	32
その他負債		253	342
未払法人税等		2	3
リース債務		11	17
その他の負債		239	321
退職給付引当金		23	20
価格変動準備金		16	15
繰延税金負債		189	225
負債の部合計		1,604	1,680
(純資産の部)			
資本金		10,100	10,100
資本剰余金		2,100	2,100
資本準備金		2,100	2,100
利益剰余金		△8,044	△8,128
その他利益剰余金		△8,044	△8,128
繰越利益剰余金		△8,044	△8,128
株主資本合計		4,155	4,071
その他有価証券評価差額金		334	397
評価・換算差額等合計		334	397
純資産の部合計		4,489	4,468
負債及び純資産の部合計		6,093	6,149

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成21年度	平成22年度
		第3四半期累計期間 (平成21年 4月 1日から 平成21年12月31日まで)	第3四半期累計期間 (平成22年 4月 1日から 平成22年12月31日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		2,761	2,866
保 険 料 等 収 入		2,721	2,824
(うち保険料)		(2,665)	(2,733)
資 産 運 用 収 益		40	31
(うち利息及び配当金等収入)		(40)	(31)
そ の 他 経 常 収 益		0	10
(うち責任準備金戻入額)		(-)	(10)
経 常 費 用		3,222	2,779
保 険 金 等 支 払 金		1,009	784
(うち保険金)		(746)	(512)
(うち給付金)		(150)	(164)
(うちその他返戻金)		(0)	(3)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		67	58
支 払 備 金 繰 入 額		61	58
責 任 準 備 金 繰 入 額		6	-
資 産 運 用 費 用		0	0
(うち支払利息)		(0)	(0)
事 業 費		2,094	1,889
そ の 他 経 常 費 用		50	46
経 常 利 益 (△は経常損失)		△461	87
特 別 損 失		9	0
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		1	0
そ の 他 特 別 損 失		8	-
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)		△470	86
法 人 税 及 び 住 民 税		2	2
法 人 税 等 合 計		2	2
四半期純利益 (△は四半期純損失)		△473	83

注記事項**(四半期貸借対照表関係)**

平成22年度第3四半期会計期間末

1. 有形固定資産の減価償却累計額は125百万円であります。
2. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：千株)

	当四半期会計期間末 株 式 数
発行済株式	
普通株式	400
合 計	400
自己株式	
普通株式	—
合 計	—

なお、新株予約権、自己新株予約権に関する事項及び配当金支払額については、該当ありません。

3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

注記事項**(四半期損益計算書関係)**

平成22年度第3四半期累計期間

1. 1株あたり四半期純利益の金額は209円4銭であります。
2. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△457	80
キャピタル収益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	—	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	—	—
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△457	80
臨時収益	—	7
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	7
その他臨時収益	—	—
臨時費用	3	—
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	3	—
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△3	7
経常利益 A+B+C	△461	87

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成22年度 第3四半期 会計期間末	平成21年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	5,187	5,199
資本金等	4,155	4,071
価格変動準備金	16	15
危険準備金	544	551
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90%	471	560
土地の含み損益×85%	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	571	582
保険リスク相当額 R1	447	454
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	95	95
予定利率リスク相当額 R2	0	0
資産運用リスク相当額 R3	103	118
経営管理リスク相当額 R4	19	20
最低保証リスク相当額 R7	—	—
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,814.6%	1,785.9%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。

<参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	平成22年度 第3四半期 会計期間末	平成21年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	6,093	6,149
負債の部に計上されるべき金額の合計額を 基礎として計算した金額 (2)	853	887
実質資産負債差額 (1) - (2)	5,240	5,261

(注) 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券は、該当するものではありません。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(参考) 第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：件、億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間				平成22年度 第3四半期会計期間					
	件数	金額			件数	前年 同期比	金額			
		新契約	転換による 純増加				前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個人保険	1,122	175	175	—	1,039	92.6	162	92.6	162	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・新契約年換算保険料

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間	前年
			同期比
個人保険	73	68	92.5
個人年金保険	—	—	—
合 計	73	68	92.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	22	19	86.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

・ 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成21年度 第3四半期会計期間 (平成21年10月1日から 平成21年12月31日まで)	平成22年度 第3四半期会計期間 (平成22年10月1日から 平成22年12月31日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		967	938
保 険 料 等 収 入		909	911
(うち保険料)		(891)	(909)
資 産 運 用 収 益		16	15
(うち利息及び配当金等収入)		(16)	(15)
そ の 他 経 常 収 益		42	10
(うち支払備金戻入額)		(36)	(一)
(うち責任準備金戻入額)		(5)	(10)
経 常 費 用		1,134	929
保 険 金 等 支 払 金		418	295
(うち保険金)		(341)	(204)
(うち給付金)		(49)	(61)
(うちその他返戻金)		(0)	(0)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		—	4
支 払 備 金 繰 入 額		—	4
責 任 準 備 金 繰 入 額		—	—
資 産 運 用 費 用		0	0
(うち支払利息)		(0)	(0)
事 業 費		699	610
そ の 他 経 常 費 用		16	18
経 常 利 益 (△は経常損失)		△166	8
特 別 損 失		0	0
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		0	0
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)		△166	8
法 人 税 及 び 住 民 税		0	0
法 人 税 等 合 計		0	0
四半期純利益 (△は四半期純損失)		△167	7

・経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
基礎利益 A	△166	7
キャピタル収益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	—	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	—	—
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△166	7
臨時収益	—	1
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	1
その他臨時収益	—	—
臨時費用	0	—
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	0	—
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△0	1
経常利益 A + B + C	△166	8

・保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。